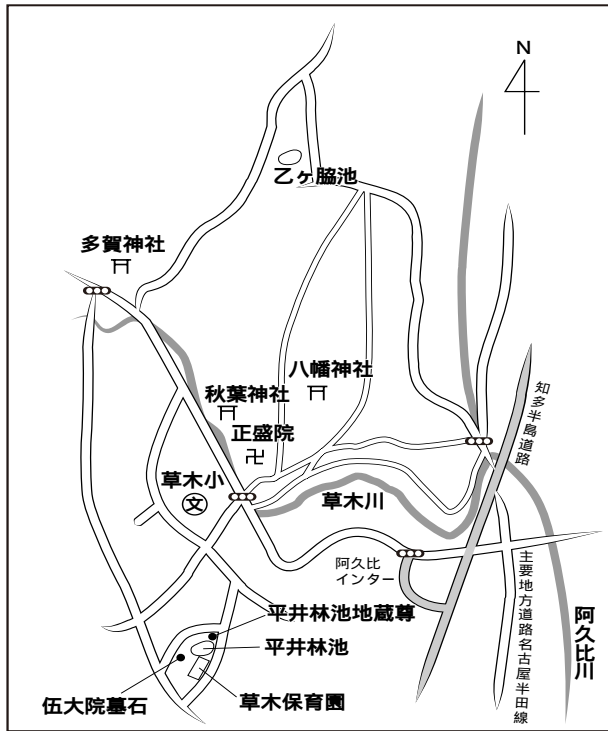


シリーズ

阿久比を歩く ⑩



平井林地蔵尊を見つめる“地蔵尊”

草木コースの最後は、伍大院墓石と「平井林地蔵尊」を探しに出掛けた。伍大院墓石は、平池地内の小高い場所の竹林に一基だけひっそりと置かれる。一メートルほどの高さの墓石で、中央に大きく「伍大院墓」と刻まれる。墓石の向かい、北側には「本宮山」がまつられている。

あぐいぶらり旅

石造物を巡る(草ホコース③)

調査報告書では、寛永、正保、慶安(江戸時代)ごろの大峰山修験者が生身成仏した場所だと解説される。近くで孫と楽しそうに遊ぶ夫婦に話し掛ける。墓石のことについて尋ねると「ぶらり旅」でしょ。今は石造物を巡っているんだよね、いつも読ませてもらうよ」と、うれしい言葉を掛けてもらう。

疫病が村ではやる。「伍大院」が、病気の人々に代わり苦しみを受けるため、自ら生き埋めとなり、命を絶つ。その後村人の疫病が治まったという話が伝わる。

毎月二十一日は、この辺りに住む人々が当番を決めて、花などを供えることが続けられる。毎年九月二十一日は、近所の人がああ場所に集まります。子どものころは、各家庭が重箱にごちそうを詰めて持ち寄り、食べた後飲みだして、ちよつとしたお祭りでしたよ」と夫婦は振り返る。

自らの命を村人のためにささげた「伍大院」。伍大院が村人を救った功

調査報告書では、寛永、正保、慶安(江戸時代)ごろの大峰山修験者が生身成仏した場所だと解説される。近くで孫と楽しそうに遊ぶ夫婦に話し掛ける。墓石のことについて尋ねると「ぶらり旅」でしょ。今は石造物を巡っているんだよね、いつも読ませてもらうよ」と、うれしい言葉を掛けてもらう。

池の近くに草木保育園がある。この池には河童がいて、毎年子どもたちが「お化け大会」に招待するみたいだよ。仕事で来たときに知ったんだけどね」と私が友人に話す。「河童ですか?」「勇気を出して「おはけめいる」を通り抜けた子には、出口近くで待つ河童からプレゼントがもらえるらしいんだよね。子どもたちがプレゼントもらって喜んでる姿を見たよ。「河童は見なかったんですか?」「ううん。勇気がないから外で待ってた。「そつですか?」。

地蔵尊は河童の存在を信じている園児たちの通園を、毎日見守っている。

池の近くに草木保育園がある。この池には河童がいて、毎年子どもたちが「お化け大会」に招待するみたいだよ。仕事で来たときに知ったんだけどね」と私が友人に話す。「河童ですか?」「勇気を出して「おはけめいる」を通り抜けた子には、出口近くで待つ河童からプレゼントがもらえるらしいんだよね。子どもたちがプレゼントもらって喜んでる姿を見たよ。「河童は見なかったんですか?」「ううん。勇気がないから外で待ってた。「そつですか?」。



竹林の中にある「伍大院墓石」